

第1回 生涯学習施設整備促進審議会

会議録要約

●開催概要

開催日	令和7年12月9日(火)
時 間	午後6時00分～午後8時00分
会 場	胎内市役所 2階大会議室
参加者	委員14名
傍聴者	傍聴者7名(うち報道関係3名)
市出席者	市長(あいさつのみ)、教育長、生涯学習課長ほか事務局担当者

1 市長あいさつ

市長	<p>○もう師走に入り、ご多忙のことと思いますが、今日は生涯学習施設整備推進審議会の第1回目の会合となります。</p> <p>審議会メンバーは、施設の利用者、子育て世代、識見を有する方々をはじめ、公募の委員や商工業など様々な分野で活躍されている方々で構成されています。本審議会の目的は、望ましい施設整備と利用促進について自由闊達に議論し、市民に喜ばれるより良い施設づくりを進めることです。</p> <p>審議を進める中で、施設整備の計画は市全体の施設として市民の最大公約数の方々が利用いただけるよう、市街地からの距離や交通アクセス、周辺環境、さらに現在進行中の統合中学校の議論との整合性が求められます。後ほど、事務局から統合中学校に関する情報が提供される予定ですので、ご留意ください。</p> <p>また、議会からはアンケートの実施についても意見が出ています。アンケートを実施する際には、誰に実施するのか、どのように結果を反映させるかを慎重に考える必要がありますので、その点についても議論をお願いしたいと思います。</p> <p>この後、審議会の会長を選出し、議事が進行されます。私は、あくまで諮問する立場にありますので、議論に加わることが適当ではなく退座させていただきますが、もし議論の中で何か気づかれた点があれば、事務局や私に遠慮なくお知らせいただければ幸いです。</p> <p>最後に、皆様には今後、貴重な時間を割いていただくことになりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
----	---

2 協議題

事務局	<p>○正副会長の選任に入ります。本審議会では、条例第5条第1項の規定に基づき、委員の互選により会長と副会長を選出することとなっています。今回は事務局から提案させていただく形で進めさせていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>○事務局より提案。 ご承認いただける場合は、拍手をお願いします。</p> <p>(拍手多数)</p> <p>○拍手多数と認めます。会長と副会長が決定しました。</p>
会長	<p>○協議題に入ります。(1) 諮問内容、所掌事項についてと、(2) 新たな生涯学習施設の概要と機能について、事務局から一括して説明をお願いします。</p>
事務局	<p>○ (配付資料に基づき、説明。)</p> <ul style="list-style-type: none">★ 諮問内容・所掌事項について★ 生涯学習施設のこれまでの検討経過について★ 基本構想、基本計画（案）の概要について★ 事業規模について★ 建設候補地について★ 市民から寄せられているご意見について
会長	<p>○ただいまの説明について、質問、意見はありませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>○次の（3）望ましい施設整備と整備後の利用促進等について、説明願います。</p>
事務局	<p>○ (配付資料に基づき、説明。)</p> <ul style="list-style-type: none">★ 検討の前提条件★ 建設候補地について
会長	<p>○ただいまの説明について、質問、意見はありませんか。</p>
委員	<p>○候補地を増やすことでどんどん工期が遅れる可能性があるため、これ以上新たな候補地を追加するのは難しいのではないかと思います。令和元年からこれまで意見をいただいてきています。これ以上意見を聞き続けることは議論が進まなくなるので、今出ている意見を基に絞り込んで進めていく方が効果的ではないかと思います。</p>

委員	○候補地選定についてですが、施設に必要な内容を先に、その後で適切な場所を選ぶのが適當ではないかと思います。場所ありきではなく、施設の機能に合った場所を選ぶ方が良いと思います。 また、騒音の問題についてです。特に民家に近い場所では騒音が問題になることが多いです。 施設が完成した後の影響も考慮すべきです。道路幅やアクセスだけでなく、周辺環境への影響も予測し、対策を講じることが大切です。
委員	○場所よりもまず「中身」をしっかりと審議してから決めるべきだという点、とても共感しました。 さらに、これから子育てをしている方々が金銭的に大変な状況にあることを考えると、新しい施設を建てるよりも、既存の施設を再利用できないかという点を考えてみるべきではと思っています。
委員	○私も同じ考えです。まず、場所を決める前に、どのような施設を作るか、何を提供するかをしっかりと議論すべきだと思います。ただし、今進められている統合中学校の議論にも関連して、場所の選定に影響が出るかもしれません。 まず施設の内容や目的を明確にすることが大切です。各地区で行うべきことと、市全体で取り組むべきことを分け、胎内市をどう盛り上げるかといった観点から考えた方が、最終的に適切な場所が自然に決まるのではないかと思います。
委員	○パブリックコメントを見ていると、公民館機能と図書館機能を合わせた施設が、今回の生涯学習施設のように皆さん受け止めているように思います。しかし、図書館+公民館+ α のプラス α の機能が大きいのではないかでしょうか。
会長	○図書館や公民館のイメージは大体できていると思います。その上で、今回の施設には多世代交流の要素も含まれていますが、その具体的な中身がもっと明確になれば、施設の内容がよりはつきりし、計画が具体化するのではないかという意見です。
委員	○計画（案）では、令和 12 年に供用開始を目指し、もう 2 年ぐらいで建設が始まるイメージです。そもそもなぜこの時期に施設を造らなければならないのか。何か理由があるのかを伺いたいです。
事務局	○新たな生涯学習施設の整備については、平成 20 年代中頃から、胎内市に生涯学習センター的な施設を設置してほしいという声が高まり、平成 29 年にプロジェクトチームを立ち上げてから、現在に至っています。したがって、市民から待ち望まれている施設ですので、速やかに応えていくために、現在のスケジュールとなっていきます。

委員	<p>○最近、図書館が地域活性化の拠点として重要視され、まちづくりやにぎわいづくりの拠点として機能する新しい図書館が造られています。これらの施設は、単に本を貸す場所ではなく、多世代交流を促進し、子どもや若い世代、さらにはお年寄りが気軽に集まり、楽しく過ごせる場所を提供しています。</p> <p>そのため、施設計画においては、地域活性化という視点を取り入れることが重要です。図書館を中心に地域が賑わう効果があるため、中心市街地の活性化や商店街の振興、町中居住のテーマともセットで考える必要が少なからずあります。また、設計段階では、住民参加型のアプローチを取り入れることが大切で、特に若い人たちの意見を反映させることが重要だと思います。</p> <p>さらに、現実的な問題として、現在の中央公民館や図書館が老朽化しているため、耐震性やリフォームのコストも考慮する必要があります。</p>
委員	<p>○生涯学習施設の場所を決め方は、将来的なまちづくりや人の動きを踏まえて決めるべきだと思います。この施設がどう利用されるべきか、その目的を明確にした上で、候補地を選定することが重要です。</p> <p>こうした視点で、施設の使い方や目的に基づいて、候補地を決める方が良いと感じました。</p>
委員	<p>○私が求めている生涯学習施設の理想は、話し合いができる場所です。現在の図書館は静かな環境で本を読むには適していますが、友人と一緒に勉強したり、話をしたりする場所が不足していると感じています。そこで、生涯学習施設には、自由に話せるスペースを設けてほしいと考えています。</p> <p>また、胎内市内には人が集まって座れる場所が少ないため、そのような施設を増やすことで、高校生や学生の利用も増えるのではないかと思います。</p>
委員	<p>○このプロジェクトが令和元年から始まったことについては、正直知りませんでした。資料を読んだりお話を伺ったりして、プロジェクトのスタート時点について理解が深まりましたが、パブリックコメントにも、施設のイメージが不明確だという意見があり、これが今後の大変な課題であると感じました。</p> <p>施設がただの箱物にならないためには、利用促進が重要です。そのためには、どんなサービスを提供するのかが重要なポイントとなります。時間をかけて、意見をしっかりと集めながら進めていくべきだと思います。</p>
事務局	<p>○配付の基本構想は、これまで様々な立場の方々から出された意見、ワークショップで収集した内容を取りまとめたものです。この段階で、市民の皆さんが望む施設の基本的な方向性はおおむね反映されていると考えています。</p> <p>これからは、基本計画に基づいて、実際の設計に進んでいきます。設計段階で、設計者、その他ワークショップを重ね、具体的に形になるように進めていきたいと考えています。よって、基本構想に示された内容は、市民が求める施設として網羅されていると考えています。</p>

委員	○今回のプロジェクトは、図書館と公民館の機能の既存の施設に加えて、新たな機能をプラスαしたいという形で進められているという理解でよろしいでしょうか。
事務局	○市民の声を聞くと、子どもが遊べる場所やカフェの設置など、交流の場としての機能が求められています。単なる社会教育の場ではなく、多世代がつながり、交流が生まれる場としての役割が期待されていると考えています。
委員	○図に示されている、飲食スペースや子どもの遊び場、さらには駐車場スペースなどの付加された施設は、市民の方々の要望に基づいているという理解でよろしいでしょうか。 この市民が求めるイメージを基本にして、これから話し合いを進めていくという理解でよろしいでしょうか。
事務局	○基本構想とそれに基づく基本計画（案）は、これまで市民と共に検討を重ねてきたものです。これがベースとなり、これを踏まえて、建設候補地の選定について、この審議会でいただいたご意見をもとに、構想が実現できる望ましい場所の決定に至ればと考えています。
委員	○この生涯学習施設のイメージは、誰でもネットで調べればイメージできる内容だと思います。実際に市民が本当にこれを求めているのか疑問に感じます。私の周りのお母さんたちは、この計画のことを知らない人が多いです。新しい施設ができると自体を知らない人たちが多いです。市民の声を反映するためには、そういった人たちの意見もきちんと聞いて、反映させていくべきだと思います。
委員	○今までの努力で作られたこの計画は、グランドデザインだと思っています。これで候補地が出てきているものの、なかなか決まらない。そこで、皿を決める前に料理を決めるという考え方で、まず施設の内容を固め、その後、候補地を決めるべきだと思います。グランドデザインについては、パブリックコメントでもほぼ賛成、反対意見は少ないという結果が出ていることから、これをたたき台として、さらに積み上げていく形でという考え方で、私は話をしています。

委員	<p>○子育て世代や若い世代にとって、たまり場がなく若い世代のための居心地の良い空間を作ることが求められますが、同時に年寄りにも快適な空間を提供することも重要です。</p> <p>また、若い世代はおしゃれで快適な空間を求めています。機能や施設に関して、他の自治体の図書館などでも似たような空間が欲しいと感じているのではないでしょか。</p> <p>この施設は、若い世代の快適な空間を作ることが非常に重要です。</p> <p>図書館は市民にとって身近な施設であり、単なる「生涯学習施設」ではなく、もっとワクワクするような、地域の特色を活かした新しい施設を目指すべきです。市民がここに来たくなるような魅力を作り出すことが大切です。</p> <p>ここでしかできないような魅力的な施設にするために、こういった場で意見を積極的に取り入れ、肉付けしていくことが重要です。これによって、「胎内市に住んでいてよかったです」と感じてもらえる施設を作り上げることができます。</p> <p>また、運営費については、稼ぐ視点を取り入れることが重要です。現在の図書館や公民館の条例では収益事業が制限されている場合がありますが、この新しい施設では、地域の資源を活かして収益を上げる方法も検討できます。例えば、胎内市の特徴である自然、歴史、食をテーマにした施設内での取り組みが考えられます。</p> <p>お饅頭の販売や日替わりの出店コーナーなどを取り入れれば、その売上を施設の運営費に還元することができます。これにより、民間の資金を活用した運営が可能になり、コスト面の工夫にも繋がります</p>
委員	○A I を使って生涯学習施設の定義について調べてみた結果、芸術文化やスポーツを含む、全年齢対象の広範囲な施設であることがわかりました。そのため、施設計画を進めるにあたっては、スポーツや文化活動など、幅広い活動を意識して、全世代・全年齢が利用できる場を提供することが大切です。
委員	○先ほど事務局から既存施設を残す方向が示されました。耐震性とか考慮すると、どのように残すかはこれから議論ですか。
事務局	○現在の中央公民館と図書館は、耐震補強をしており、老朽化が進んでいますが、即座に使用できない状態ではありません。生涯学習施設の完成後の既存施設（中央公民館、図書館以外）の活用についてどうするかはまだ決まっていませんが、中央公民館や図書館機能を残すと計画（案）で補足しています。
委員	○委員に選ばれるまで、この生涯学習施設の計画を知らなかつたので、もっと市民に知ってもらう必要があるのかなと思います。
委員	○イラストがあって、具体的なイメージが湧くと、関心も高まるのではないかと思います。

委員	○テレビ番組を見て、図書館は静かに勉強する場所というイメージがありましたが、子どもたちが賑やかに遊ぶ場面もあり、印象が変わりました。最終的には、全世代が集まる場所としてのイメージを大切にしたいと思います。 既存の各地区公民館を残すべきという話がありましたが、それも重要だと思います。
委員	○従来の図書館のイメージに縛られず、もっと柔軟に、楽しい雰囲気を提案することが重要だと感じます。究極的には、子育て世代向けに、お子さんを預けて自分の時間を楽しめるような施設もイメージしてみてはどうでしょうか。さまざまな機能が重なるかもしれません、思い切った提案をすることで、より魅力的なものができると思います。
副会長	○子どもを育てていた時、胎内市には勉強できる場所が少ないと感じて、村上や新発田、聖籠まで出かけることが多かったです。今、子どもを預かっているのですが、遊び場も少ないと感じ、楽しい遊具や施設がある場所を探しては遠くまで連れて行くことがあります。場所にこだわらず、行きたいと思う場所には足を運ぶんだなと感じています。そんな施設が胎内市にできるとなると、すごくワクワクしますし、「胎内市に行ってみよう」と思ってもらえる場所になるのではないかと思います。また、多世代交流についても、他の世代と関わることで居場所を感じ、強い絆が生まれることを実感しています。こうした交流の場ができるのを楽しみにしています。
委員	○今日参加させていただき、だんだんこの施設へのワクワク感が増してきました。ただ、まだ知らない方も多いと思うので、広報でこのプロジェクトを周知し、ワクワクしてもらうことが大切だと思います。市民の方々から『こんなのがあったらいいな』というご要望を聞くためには、視覚的な情報を提供し、このプロジェクトの内容や機能についてご意見やご要望を募る形で、一度声をかけるのも良いのではないかと思います。もちろん実現可能なことと難しいこともあると思いますが、市民が思い描いているイメージや『こんなのがあったらいいな』という要望をもう一度拾い上げる機会があつても良いのではないかと感じます。
委員	○市民を巻き込むことは非常に大事なので、広く意見を聞く機会を設けることが重要だと思います。アンケートは受け身の調査になりがちで、書いてくれる人に限られてしまいますが、積極的に意見を集めめる方法も有効だと思います。いろんな方法が考えられると思うので、積極的に市民の声を集めめる方法を検討していただければと思います。パブリックコメントも、書く人だけが意見を出すので、若い人たちの意見を集めるためにも、こちらから積極的に集めに行くことが大切だと思います。

委員	○確かに、大人はアンケートや意見提出がしやすいですが、小学生や中学生は市報を見て意見を出すことは難しいと思います。だから、学校に出向いて、子どもたちがどんな施設を望んでいるのか、どんな機能が必要かを聞くことが大切だと思います。場所よりもまずは必要な機能を決めてから、場所を選ぶほうが効果的です。また、多くの親子連れが集まって遊べる場所を作ってほしいと思っていました。お母さんたちの意見をもっと聞いて、施設に反映させることが大切だと感じています。
委員	○図書館の機能についてですが、できるだけ大規模な蔵書型ではなく、小型で分散した図書館の方が、読みたい人が近くにあるという感覚の方が良いのではないかと思います。先ほどお話があったように、図書館の機能が大きく変わってきてている中で、蔵書数にこだわる考え方はもうあまり必要ないのではないかと感じています。
事務局	○図書館の蔵書数は人口規模に基づいて標準的な基準が設定されていますが、その蔵書数にとらわれずにと考えているところです。
事務局	○皆様のお手元に『胎内市生涯学習施設整備基本計画（案）』（パブコメ第1回目用）の22ページをご覧いただければと思います。こちらは、実際に小学生、中学生、高校生、大学生にも参加してもらい、その意見を集めた内容がまとめられています。少し時間が経っていますが、今までそのような手順を踏み、それらを踏まえて取りまとめています。 この内容を基に、どういった施設が市民に求められ、どのような目的を持つ施設を作るべきかを共有していただけするとありがたいです。その上で、もし内容に変更点や追加したい点があれば、いろいろな立場の皆さんから意見をいただきながら議論を進めていければと思います。
委員	○今、こんな要望やイメージが出ているという中間報告を行い、それを広く市民の皆さんに知ってもらう機会を設けることも大切だと思います。
委員	○それは行っています。これまでの資料全部目を通してますが、市役所が一生懸命に様々な意見を集め、進めてきたのに、また議論が後戻りしているように思います。設置場所など次のステップに進む必要があります。
事務局	○具体的なイメージやグランドデザインについて、もう少し明確に皆さんに知っていただけるようにすることが重要だと思っています。最初に提供できなかった点があり、皆さんからいただいた貴重な意見を反映させる必要を強く感じています。また、それぞれの皆さんがこの生涯学習施設に対して異なる認識を持っているということも再認識しました。それが当然だと理解しているので、次回は、皆さんと同じ土俵に立ち、具体的なイメージがわくような形で議論できるように、事務局から提案させていただきたいと考えています。

会長	<p>○基本構想や基本計画（案）はさまざまな意見を反映させて練り上げられたものだと理解しています。ただ、具体的な図面や視覚的なモデルで捉えられると、よりイメージが湧きやすくなると思います。</p> <p>事務局から次回、具体的なイメージとしてお示しいただけるという話がありましたが、どの程度まで詳細かは時間のない中で分かりませんが、同じ土俵に立てれば、場所の選定についても集約できるのではないかと思います。</p> <p>時間も押してきましたが、その他ございますか。</p> <p style="text-align: center;">(なし)</p> <p>次に、場所選定についてのプロセスに関して、アンケートの適否について、あくまでも場所の選定に関して、何か意見のお持ちの方はいますか。</p>
委員	<p>○この場でいろいろな話を伺い、経緯を知ることで初めて分かったことがあります。アンケートを取ることが必ずしも同じ土俵に立った意見集約になるわけではないのではないか、そのような中で果たしてアンケートの結果を受け止めていいのかと疑問に感じましたので、賛成はできません。</p>
委員	<p>○アンケートを取るということは、回答者がどの前提に立っているかによって、その結果が大きく変わってくると思います。</p> <p>単に生涯学習施設を作ります、候補地はこれです、という形でアンケートを取るのでは、意図が伝わらず、まとまらない結果になってしまうのではないかと感じました。</p>
会長	<p>○現時点では、建設候補地の選定に関して、住民アンケートという形はとらないほうが望ましいのではないかと、いうような方向でよろしいでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
委員	<p>○もしアンケートを取らないとなると、今後はどのような形で候補地を決めていくのかという点が重要です。</p>
委員	<p>○最終的には機能や要素が絞られることで、候補地は自然に決まっていくと思います。</p> <p>そのため、まずは基礎的な面積や施設に必要な要素（例えば部屋の数やアクセスの良さ）を明確にした上で、最終的にはイメージが具体化し、選定ができるのではないかと考えます。</p>
委員	<p>○次の審議会のゴールは何でしょうか。</p>
事務局	<p>○どこを候補地とするか審議いただきたい。</p>
委員	<p>○今回の審議形式でなく、少人数での話し合いを希望します。</p> <p>そして何を話し合うか明確にしてください。</p>
会長	<p>○次回の審議会の持ち方について意見いただきましたが、他にありますか。</p> <p style="text-align: center;">(なし)</p>

事務局	○それでは、今後のスケジュールについてお伝えいたします。次の審議会は、22日（月曜日）の18時から開催予定です。進め方としては、今お話しがあったように、小グループに分かれての審議とし、特に、この基本構想・基本計画（案）のコンセプト『つなぎ・育む・情報文化交流拠点』という点について、皆さんに共通認識を持っていただきたい上で、グループごとに議論を深めていただきたいと思いますが、この進め方でよろしいか、ご確認させていただければと思います。
会長	○今ほど事務局から説明のあった進め方でよろしいでしょうか。 (異議なし) そのように準備をお願いします。